

どろいあんぐる菅生

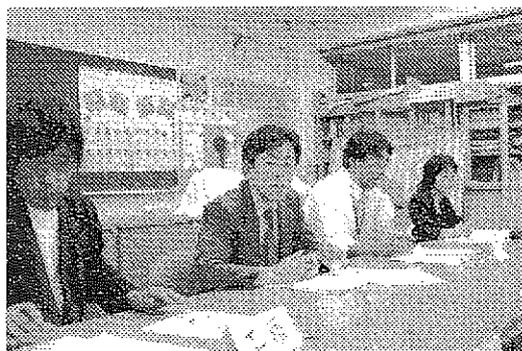
発行：菅生中学校区地域教育会議
編集：情報委員会
当番校：稗原小学校 TEL 976-4557
事務局：コミュニティサポートネット内
TEL 979-1303 FAX 979-1304

http://sugao-ky.hp.infoseek.co.jp E-mail: csn@ha.bekkoame.ne.jp

平成17年6月15日、菅生中学校区地域教育会議は総会をもって本年度の活動を開始した。ここ数年総会のたびに講演会などを行ってきたが、今回の企画は公開学習会。これは昨年1年間を通して行ってきた学校訪問の中間発表である。今、外に向かって開かれつつある学校を外部の目で積極的に評価していこうと、学校内外の人々が意見を交わした有意義な学習会となった。

公開学習会 学校評価はじめの一步 第1弾

講師：中西 茂
読売新聞「教育ルネッサンス」担当デスク
ゲスト：安部公美 菅生中学校教諭
池川 昇 稗原小学校教諭
コーディネーター：工藤文比古 生涯学習委員長
(稗原小学校図書室にて、参加者48名)



外部の目を入れることの意味と効果 (中西氏の講演から)

外部の目を入れる効果は、公平性が確保されれば大きな意味がある。学校の常識を社会の常識にあわせることになる。大学はすべて外部評価を受けており、幼稚園もその対象になってきている現在、小、中学校が外部評価を受けるのは当たり前のこと。そこで「教育ルネッサンス」というシリーズを始めた。評価には外部から、保護者や地域、同僚からなどがあるが、教育研究団体の「TOSS」などは、級や段で非常に細かくランク付けしている。新聞では先生を応援したいという狙いでやっているが、読者の反応は、等級評価を教師全員に義務付けるべきなど、授業する力について世間の目は厳しくなっている。たしかに優れた先生もそうでない先生もいて、全体として授業力が低くなっている。理由としては、教員組合の弱体化がある。

団塊の世代がごっそり抜け、組合の中で磨き上げてきた技術の伝承や教え方のいろはを伝えることが難しくなっている。だからこそ外部の目を入れ、プロとしての見方と素人感覚、そのせめぎ合いがこれからの課題。

昨年法律が改正され、学校運営協議会ができた。教育委員会が指定し、現在は20数校で実施だが、2、3年後には百数十校になる。それでもプロと素人のせめぎ合いがあるが、どういふ助けが必要か学校から発信し、逆に地域から提案していくこともできる。修学旅行の付き添い、道徳の授業の組み立て、図書館の運営、ホームページの更新、コミュニティファンド(基金)の立ち上げなど、地域でやっていることはさまざま。学校はいかに情報を発信するか、どういう情報を地域は欲しているのかをじっくり考える必要がある。

■ゲストの先生の授業について

安部先生は英語のプロフェッショナル。リズム、スピード、聞きやすさ、分かりやすさ、空気が詰まっている。授業の持つ力だけで生徒を引っ張っていく。池川先生は子どもに対し2つの顔を使い分け、かつ全体の展望を分かりやすく展開していく。2人ともよく子どもたちを観察し、変化を見逃さない。常に新しい工夫をしている。外部評価に対しても、授業の質の向上のために有効として積極的に受け入れたいと話していた。

■三校の学校長の話

校内研修会の数も減り、技量を高める機会としても外部評価は重要。回数、視点が增えるほど、開かれた学校として進歩する。PTAはある意味内部であり、保護者参観では本音は伝わらない。その本音を伝えてもらうのが地域教育会議では。地域の目から見た本音、辛口の意見を学校の中で生かしていきたい。

まちにはだれがいる？ まちには・・・子どもがいる・赤ちゃんといる・先生がいる・工事の人がいる・お医者さんがいる・つりやさんがいる・夢みる少年がいる・農家のおじさん・おばさんがいる・おじいさん・おばあさんがいる・ネコがいる・消防士さんがいる・・・

めざそう!!



菅生中学校区 子ども会議

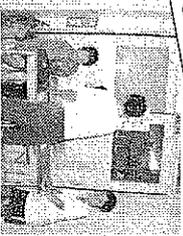
このまちペリーまっちょ

参加者 小学生2人 中学生 19人 大人 9人

2005年7月20日(水)
13時～15時
会場 菅生中学校

川崎市子どもの権利条例にもとづいた子どもの意見表明の場としての「子ども会議」。菅生中学校区では、中学生が中心となり実行委員会で「まちづくり」をテーマに話し合いを進めてきました。子どもたちがどんなまちをめざしたいのか、イメージをふくらませ、具体的に活動するための足がかりとして、参加者全員で考えていくワークショップを開きました。講師はまちづくりをサポーターするサスナエナズル・コミュニティ研究所の大枝奈美さん。ゲームやワークショップをおして子どもたちのさまざまな思いが引き出され、次へのステップにつながりそうな意見が――。

Workshop



受付はここにしよう



大枝さんの話に集中



菅生中区の東端は何があるかな？



私がやってみてみたいことはコレ！

こんなことをやってみたい？

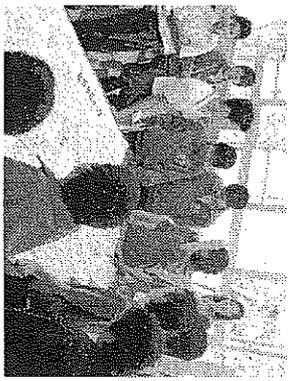
- 公園・映画館をつくりたい。
- ライオンロードのウォルトディズニーに会いたい。
- コナカの駐車場を遊べるようにならしたい。
- 公園をついに(フリーマーケット)をやりたい。
- 学校の近くは空のバーキックもつくりたい。
- 平瀬川の水遊びをやりたい。
- まちのゴミ箱を整理したい。

ワークショップをやって感じたこと・思ったこと

- 予想以上の人が来てくれたよかった。
- 大人が多かったが、小学生が少なかった。
- ゲームが楽しかった。
- 菅生中の校区の境について発言したりして楽しかった。
- 講演だけでなく、楽しみにしてくれた。
- 小学生が気軽に来てくれたよかった。
- みんな、楽しんできてくれた。
- まちの勉強ができた。
- 身近なこともやれてよかった。
- 自分たちでまちをつくるために話ができるか、考えることができた。



みんなの意見がここに集まりました



みんなのやりたいことを発表してみよう

その後の活動

実行委員会から
2学期が始まってしま
もなぐの9月13日、
実行委員会を開き、
ワークショップを突
けて具体的にやっ
てみたいことを話し合
いました。みんな
面白くなってしま
したよ。

あったらいいな・こうしたいな

- 学校帰りにおしゃべりできるところ (公園など) がほしい。
- バスケットやサッカーゴールのある公園がほしい。
- 川をきれいにして遊べるようになりたい。
- いつでも入れるプールがあるといい。
- 犬蔵スノーシューターを中学生も使いたい。
- 中学生も菅生緑地で遊べるといい。

みんなの願いを整理すると



☆☆☆このまちに遊び場をつくりたい!!

- 公園・・・レールがあるのかな？
- 犬蔵スノーシューター・・・子どもたちが使える施設かな？
- 平瀬川・・・川のごみはどうなっているのかな？

実行委員会に参加しよう!

菅生中学校区子ども会議では、できるだけ子どもたちが中心となって企画・運営するために、子どもたちの実行委員会を開いています。小学校4年生から中学生までの方が参加できます。自分たちの意見を出し合いながら、菅生のまちづくりを実現していきます。現在、実行委員会は毎月1回1時間～1.5時間のペースで進めています。気軽に参加してね。

問合せ (菅生小) 曾根田 TEL977-0953 (神原小) 千葉 TEL976-4557
(菅生中) 永野 TEL977-8787 (事務局) 生駒 TEL979-1303

2学期制

小中全校で導入へ

18年度から川崎市立小学校114校と市立中学校51校の全校で2学期制が導入される予定。16年度に試行を開始し、今年度は宮崎小学校など22校で実施されています。横浜市ではすでに全校が2学期制に移行しています。

2学期制になると、長期的な教育・評価ができるため、学びの連続性が確保できること、学校裁量による休みの期間が決めるため、行事などが弾力的に行えること、夏休みなどに学習相談日などをもうけ、きめ細やかな指導や子どもへの理解に役立てることができるとなごが考えられています。

実際はどうなのか、問題点やメリットなど試行校の様子に注目が寄せられています。菅生小学校の『学校だより』にも10月号から2学期制についてシリーズで掲載されています。

平成 17 年度活動予定と達成目標

生涯学習委員会

前年度は2小学校1中学の授業風景を短時間で駆け巡り、その断片から受けた感想を総会後の学習会で発表しました。そこでいくつかの、保護者や学校側も気がつかなかったことが問題提起という形で提案され、保護者、住民、学校の3者で共有できたことは大きな成果だと思えます。一方、授業は生き物であり、一貫して1つの授業を見てくれないと本当のことが見えてこない、もっと長い時間を観察してほしいとの要望が多く出ました。生涯学習の後半の活動はその意見を尊重し、1時限まるまる授業に入り込んで参加していく予定です。今回は特に教師力に力点をおいて観察していきます。学力低下が深刻な問題になっている今、様々な問題を抱えている学校でも最も重要なことの1つ、「授業中の教える力」をしっかり観察し、学校が保護者や地域や社会の期待にどのように応えようとしているかを、今年度末には皆さんにお知らせできると思っています。

地域教育学習委員会

「輝かせ子どもも大人も心の太陽を」をテーマとして、地域教育学習委員会は世代を越えた学校、家庭、地域の総合力で子どもたちを育てることを目指します。「地域とともに成長する学校づくり」の実現のためにも、子育て支援センターやこども文化センターなどの地域、あるいは学校の学習活動にも積極的に協力し、毎年行っている地域交流会も今年度はさらに有意義なものにします。「教育は人間を作る最大の芸術である」(ビクトル=ユーゴー)といわれます。地域の総合力によって、安全安心な21世紀の地域の教育の道を開いていきたいと願っています。

情報委員会

今年度の情報委員会は委員長・副委員長も初めて。とにかくメンバーはやれる人がやれることをやりながら「フレッシュ」を合言葉に活動を進めていきます。「とらいあんぐる管生」の発行による情報の収集と発信をとあして、教育の問題を考えながら、家庭・地域・学校のトライアングルがコミュニティとして機能を発揮するようサポートしていきたいと思えます。

平成 17 年度 菅生中学校区地域教育会議委員

議長：芝原 尚子 (公) 副議長：菅野 礼子 (公) 川口 尊志 (自)

◎委員長 ○副委員長 (公) 公募 (P) PTA (自) 自治会 (子) 子ども会 (防) 防犯 (青) 青少年指導員

	生涯学習委員会	情報委員会	地域教育学習委員会	子ども会議
選出委員 28名	◎工藤 文比古 (公) ○伊藤 千代子 (公) 秋山 かつ枝 (P) 山田 千鶴 (P) 秋山 浩 (公) 川口 尊志 (自) 大野 貞代 (P)	◎植竹 恵 (P) ○柳橋 美佐 (P) 七浦 美知子 (公) 井上ひとみ (P) 篠澤 惺子 (公) 芝原 尚子 (公) 生駒 みを (公)	◎古川 ツグ子 (子) ○瓜田 育美 (公) 中村 一恵 (公) 花谷 佐智子 (公) 宮城 美穂 (P) 佐野 浩巳 (P) 鈴木 裕子 (P) 吉岡 清 (自) 丸山 量子 (子) 服部 征男 (防) 新井 通夫 (防) 菅野 輝夫 (青) 尾高 久男 (青)	事務局担当 生駒 みを (公)
	菅野 礼子 (宮前区地域教育会議担当・公)			
非選出委員 11名	中村 康人 (分館) 永野 直樹 (菅生中)	池田 靖 (菅生小) 藤又 裕之 (菅生こ文)	千葉 明美 (稗原小) 山本 啓子 (蔵敷こ文)	永野 直樹 (菅生中) 曾根田サイ子 (菅生小) 千葉 明美 (稗原小)
	稗原小学校校長 三ツ橋 敏幸 教頭 吉原 博		菅生小学校校長 高橋 和一 菅生中学校校長 對馬 醇一	

17年度担当校：稗原小学校 事務局：生駒 みを (事務局長・公) 篠澤 惺子 (公) 花谷佐智子 (公)
芝原 尚子 (事務局会計・公)